

## 5Gサービス

### 西Movistar、ゲーマー向けの5G優先アクセスオプション「Gaming Boost」を提供開始

TelefonicaによるモバイルブランドMovistarは、オンラインゲームの体験品質を向上させるオプションを提供開始した。

#### Gaming Boost概要

#### 使用方法

- My Movistarアプリでオプションを有効にする
- ロイヤルティプログラム\*で獲得できる120トークンとの交換が必要

\* 特定のタスクを実行することでトークンを獲得でき、様々な報酬と交換できるプログラム  
 タスク例：バーチャルアシスタント「Aura」との会話、同社PFでの対象映画レンタル

#### 訴求点

- オプションが有効になっている間、5G網に優先的にアクセス可能
- 速度向上、遅延削減、レスポンス向上により、ゲームの体験品質が向上する

なお、利用者の報告によると、オプションが有効になるのは10分間のみ。

報道では、このような「ターボモード」は、Ericssonが通信事業者に示した5G収益化の新たな方法であるとされている。同様の取り組みは、[2022年3月に香港SmarToneも導入](#)を発表している。

## ネットワークスライシング

### シンガポールSingtel、Nokiaと5G IPトランスポートネットワークスライシングを試験

試験したソリューションは、異なるアプリケーション向けに最適化できる仮想ネットワークの活用、企業顧客のセキュアなスライスのインターネットトラフィックからの分離などの5Gサービス提供を可能とする。

#### 実証内容

- **5G無線・コア、IPトランスポートを含むNWスライシング**により、様々なスライスにEnd to endのサービスパフォーマンスを提供し、オンデマンドでNWリソースを最適化

#### 活用技術

- NokiaのIPトランスポートNWスライシングソリューション、Nokia 7750サービスルーター、NSP (Network Services Platform、トランスポートスライスのライフサイクル管理と、IP、セグメントルーティング、MPLSなど複数のテクノロジーでトランスポートNWスライスの実現をサポートする自動化機能を提供)

#### 活用メリット

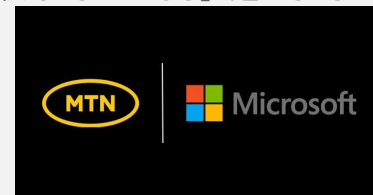
- NWリソースの管理と活用を改善することで運用コストを削減
- 消費者や企業は、差別化されたサービスパフォーマンスを利用可能  
 (サービス例：企業向けアプリケーション向けスライス、5G VPN、強化されたゲーム体験、高画質ビデオストリーミング、拡張現実)

## クラウド化

### アフリカMTN、5Gコアの全要素をMicrosoft Azureに実装する世界初の実証実験を実施

アフリカ最大のモバイル事業者MTNは、Microsoft Azureに実装された5Gスタンドアロンコアの概念実証を世界で初めて実施した。**コントロールプレーン、ユーザプレーン、管理ノードを含む5Gスタンドアロンコアの全要素を、南アフリカのAzureリージョンに実装**した。MTNは、Azureでのコアネットワーク実装の利点として、実装にかかる期間が数日と迅速であり、拡張が容易であることを挙げ、結果として、持続可能性、商用モデル、自動化、災害復旧を考慮したネットワーク計画のパラダイムシフトを推進することができたとしている。

MicrosoftのCorporate Vice President Azure for OperatorsであるTad Brockway氏は、「MTNは、Azureを利用することで、デジタル機能を強化し、様々な業界の顧客に最新の高性能アプリケーションを迅速に提供できるようになる」と述べている。



## コネクティッドカー

### 西Vodafone、ゼロエミッションバスに5Gを提供

Vodafoneは、サラゴサ市議会による「Digizity」プロジェクトにおいて、公共バスに5G通信機能を提供した。同プロジェクトは、EUの資金提供を受け、革新的公共交通ソリューションを通じたゼロエミッション都市の実現と持続可能なモビリティの推進を目指している。

### ゼロエミッションバスの特徴

- |      |                                                                                                                                                      |
|------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 効率化  | <ul style="list-style-type: none"> <li>バス停などのインフラや車両とリアルタイムで通信し、都市の交通手段を効率的に管理するためのデータを取得する</li> </ul>                                               |
| 自動運転 | <ul style="list-style-type: none"> <li>アクセル・ブレーキ、操縦、車線維持をドライバーの介入なしで可能とする運転アシストシステムを搭載</li> <li>カメラとLiDAR（光センシング技術）を搭載し、障害物検知により運転の安全性を向上</li> </ul> |
| 省エネ  | <ul style="list-style-type: none"> <li>天候、車両占有率、交通量などの状況に応じて総合的なエネルギー効率を高めるためのセンサーを搭載</li> <li>熱管理システムにより、快適性も向上</li> </ul>                          |

Digizity  
プロジェクトによる  
ゼロエミッションバス



下線部分のリンクを開くと、外部サイトの出典、参考記事が表示されます

## エネルギー効率

### 中国電信、6G時代にはコアネットワークも共同構築・運用し、電力消費削減予定

中国電信は、グローバル6G技術大会において、エネルギー消費削減の対応策に言及し、6G時代にはアクセス網のみならず、コア網も共同構築・利用すると宣言した。なお、中国電信は中国聯通と4G網の一部と5G網を共同構築・運用している。

### 中国電信のエネルギー消費削減に向けた取り組み

- |                   |                                                                                                                                                             |
|-------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| NW<br>アーキ<br>テクチャ | <ul style="list-style-type: none"> <li>地上-空中-宇宙の統合ネットワークの構築によるカバレッジ問題の解決</li> <li>2023年内に5Gスマホと衛星の双方向通信を実現予定</li> <li>固定とモバイルの融合により、帯域幅リソースをフル活用</li> </ul> |
| NW<br>共同<br>構築    | <ul style="list-style-type: none"> <li>保有するすべての周波数において、アクセス網とコア網の共同構築・利用を進める</li> <li>ブロックチェーンとAI技術により共同利用時の動的なスケジューリングを実現する</li> </ul>                     |
| クラウド              | <ul style="list-style-type: none"> <li>クラウドに基づくネットワークの自動運用</li> </ul>                                                                                       |

## 6G

### 韓国政府、次世代ネットワーク展開戦略を発表、6G商用化は2028年とする方針

科学技術情報通信部は、次世代ネットワーク発展戦略「K-Network 2030」を発表した。

- |                   |                                                     |
|-------------------|-----------------------------------------------------|
| 研究開発<br>発予算       | 6G, Open RAN等に6253億₩(約625億円)を割り当てる妥当性調査を実施          |
| 6G<br>特許          | 6G国際標準特許のシェアを30%以上確保（2022年は25.9%で世界第2位）             |
| 6G<br>デモ          | 2026年に「Pre 6Gビジョン fest」を開催し、6G研究成果をデモする計画           |
| 衛星                | 低軌道通信衛星を2027年に試験発射、2030年から国防分野で本格普及予定               |
| Open<br>RAN       | 中核となる機器・部品の開発支援と国際認証システム構築                          |
| 量子                | 量子暗号通信の公共分野への普及、量子コンピューターによる攻撃にも耐える量子耐性暗号の技術開発、実証推進 |
| NW<br>高度化<br>/省エネ | バックボーンNWの伝送速度の4倍向上、基地局へのAI半導体、AIベースの電力最適化システム適用     |